## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

						令和2年2月29日公司
	1	チェック項目 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	(\$ U)	いいえ	工夫している点 法令の基準を上回るスペースを確保 しています。 療育に集中出来るように机の位置、	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 今後も利用定員とスペースが適切な 関係になるよう努めます。
環境・体制整備業務改善業務改善	2	職員の配置数は適切である			向きなど配慮しています。 基準以上の人員配置で、保育士や児童	今後も適切な職員配置を行って参り
	3	事業所の設備等について、バリアフリー 化の配慮が適切になされている			指導員の専門職員も配置しています。	ます。 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く			ないよう適切に配慮しています。 定期的に常勤、非常勤問わず参画、 PDCA サイクルに則って現状の把握	今後も定期的な会議で、各自が評価、 業務改善策について検討し、提案し、
	5	職員が参画している 保護者等向け評価表を活用する等に よりアンケート調査を実施して保護 者等の意向等を把握し、業務改善に			と今後の方針を検討しています。 開所後初めてのアンケート調査を実施し、保護者様にご協力頂きました。	対議して参ります。 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
	6	つなげている この自己評価の結果を、事業所の会報 やホームページ等で公開している			自己評価の結果は、公式 Web サイトで公開しています。	検討し、未務以当に索けていさより。   今後も Web サイトにて公開を行って   参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		0	現時点では第三者評価は実施できて おりません。	第三者による外部評価については、 今後課題として検討して参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修 の機会を確保している	$\bigcirc$		開所時期のタイミングで行政主催の 研修に参加する機会を逸しておりま すが、事業所内で各種研修を行って います。	今後は外部の研修にも参加し、研修の 参加者が情報や知識の共有を図るため 事業所でも定期的に研修を行い、研鑽 に努めて参ります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと 保護者のニーズや課題を客観的に分析 した上で、放課後等デイサービス計画 を作成している			アセスメントを客観的視点で適切に 実施、児童の状態や保護者様のご意向 を踏まえて計画を作成しています。	今後も保護者様のご意向を踏まえた 放課後等デイサービス計画書を作成 していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握する ために、標準化されたアセスメント ツールを使用している	0		標準化されたアセスメントツールを 活用し、適応行動の状況を把握し、客 観的な判断を行なっています。	今後も継続して正確にアセスメント できるよう努めて参ります。
	11	活動プログラムの立案をチームで 行っている	0		職員間で話し合い児童の特性や課題 に応じてチームで立案しています。	今後も活動プログラムは随時チームで 立案・計画していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう 工夫している	0		習慣化する為の活動を基礎として、 尚且つルーティンにならないよう、 活動に変化を持たせています。	今後も児童が意欲的に取り組む姿勢 を引き出せるよう固定化しない活動 を心掛けます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している			平日は繰り返し行う療育で習慣化と 定着を目指し、長期休みは季節感を 取り入れる等、児童が楽しく過ごせ るよう工夫しています。	今後は児童の希望も取り入れながら 継続して平日の連続活動、長期休み の季節行事や制作等で変化を持たせ て参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と 集団活動を適宜組み合わせて放課後 等デイサービス計画を作成している	0		個別支援計画の目標から、児童一人 ひとりの特性に応じ、能力向上を狙 う個別活動、関わりを学ぶ集団活動 を適宜組み合わせて計画を作成して います。	今後も適切に個別と集団のそれぞれ の活動を組み合わせて、支援計画を 立案して参ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や 役割分担について確認している	0		朝からの送迎などで朝礼が難しい場合は、毎朝職員各自で経過記録から当日の利用児童の支援内容を確認、当日の予定表で役割分担を確認し、適宜、児発管に質問や助言を求めることを習慣化し、共通認識を図っています。	今後も毎朝当日の流れ・支援内容や 役割分担についての情報共有の上、 支援に取り組んでいきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合 せをし、その日行われた支援の振り 返りを行い、気付いた点等を共有し ている	0		送迎の都合で全員での打ち合わせは 難しい場合もありますが、職員同士で 療育の担当ごとに引継ぎを行ったり、 定期的にケース検討会議を行ったり もしています。	今後も継続して共通認識に努め、報告・ 連絡・相談を徹底して参ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をと ることを徹底し、支援の検証・改善 につなげている	0		毎日の個別支援経過の記録を徹底し、 支援の検証・改善に役立て、見直しを 行っています。	今後も継続して記録の記載を徹底して 参ります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後 等デイサービス計画の見直しの必要性 を判断している	0		定期的に必ずモニタリングを行い、 児童の状況や課題を探り、保護者様 のご意向を踏まえて、目標設定がで きるよう放課後等デイサービス計画 書の見直しや、作成を行っています。	今後も定期的に児童の現状把握、保護者様のご意向の確認の上、計画の作成や見直しを判断して参ります。
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複 数組み合わせて支援を行っている	$\bigcirc$		児童一人ひとりの課や、状況を考察 しながら、支援計画に沿ってガイド ラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っています。	今後も基本活動を複数組み合わせ、 より良い支援を目指して参ります。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担 当者会議にその子どもの状況に精通 した最もふさわしい者が参画している	0		担当者会議には児童の状況を一番把 握している児発管が参画しています。	今後も継続し児発管が参加し、支援 計画や活動案に活かして参ります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	0		保護者様から学校行事や下校時間の 変更を教えて頂いたり、送迎時担任 の先生に確認を行う等、情報共有を 行っています。	今後も継続して学校やご家庭と密に 連絡を取り合い、頂いた情報につい ては職員間で情報共有し、共通認識 ができる様努めて参ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入 れる場合は、子どもの主治医等と連絡 体制を整えている		0	現在医療的ケアが必要な児童の受け 入れはありません。	今後、対象となる児童の利用が開始となる場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに向けた態勢を検討して参ります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	$\bigcirc$		開所時期が夏であったこともあり、 園や児童発達支援事業所等から移行 した児童については、書面での情報 共有を頂く等に留まっています。	今後は、園や児童発達支援事業所と は連絡を取り合い、情報提供や助言 を頂きながら、より良い支援の為に 児童の課題に向き合って参ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス 事業所から障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援 内容等の情報を提供する等している		0	現在までに該当する児童がいない為、 情報提供には至っておりません。	該当児童があった場合、関係機関等へ 支援内容や活動状況等の情報を提供 し、児童の移行先での活動に役立てて 頂きたいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者 支援センター等の専門機関と連携し、 助言や研修を受けている		0	開所の時期もあり、今年度は研修を 受ける機会がありませんでした。	来年度は積極的に研修にも参加し、 助言を求め、連携して参ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流 や、障がいのない子どもと活動する 機会がある (地域自立支援) 協議会等へ積極的に		0	これまでは事業所での交流機会はありませんでした。 今年度は、協議会への参加機会はあり	保護者様のご意向をうかがいながら、 近隣の学童保育等との交流機会への 検討を行って参ります。 今後は研修や講義等に積極的に参加
	27	参加している 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題に			ませんでした。 連絡ノートや送迎時の面談を活用し、 保護者様との情報交換を行い、児童	し、能力向上に繋げて参ります。 今後も引き続き保護者様と情報共有
		ついて共通理解を持っている			についての共通理解を深めています。 今年度は事業所発信のペアレント・ トレーニングを開催する機会はあり	の充実を図り共通理解に努めます。 
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0		ませんでした。 できる範囲のご支援に努め、送迎時 や連絡帳のやり取りを通して、ご質問 等への助言を行っています。	機会を検討し、また継続して保護者 様のお悩みに寄り添う支援に努めて 参ります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	0		契約時、あるいは保護者様の求めに よりいつでも児発管がわかりやすく 丁寧にご説明を行っています。 連絡ノートで、また送迎時機会等に	これからも分かりやすく丁寧な説明 を心掛けて参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と 支援を行っている	0		保護者様の相談や悩みを頂いた場合は、よくお話を聞き、丁寧な対応に努めています。 話しかけやすい雰囲気づくりを心掛け、時にはお電話や家庭への訪問等、保護者様の事情に合わせ支援を行っています。	今後も継続して、子育てのお悩みに ついて助言を続け、保護者様に寄り 添う対応を心掛けて参ります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護 者会等を開催する等により、保護者 同士の連携を支援している		0	本年度は父母の会を開催する機会を 持つことができませんでした。	保護者同士の交流を希望されていないで家庭もあり、で意見をうかがい、で意向に配慮しながら保護者様同士や職員との交流機会を検討して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、 対応の体制を整備するとともに、子ど もや保護者に周知し、苦情があった 場合に迅速かつ適切に対応している	0		苦情や申し入れの対応には苦情窓口を決め、迅速に対応出来るよう整備に努めており、保護者様にも契約時にご説明を行っています。 苦情を頂いた場合、全職員に周知し、ご意見と対応についての共通理解を図っています。	今後も保護者様から忌憚なくご意見を頂けるようコミュニケーションを取り、ご意見には出来るだけ迅速な対応を行い問題を解決できるように努めて参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や 行事予定、連絡体制等の情報を子ども や保護者に対して発信している	0		公式 Web サイトのブログにて月 1 回程事業所の様子をお伝えしています。また SNS でも情報は発信し、年 4 回季刊誌を発行しています。	今後も継続して情報の発信を行い、 保護者様にも更に知って頂けるよう 努め、また事業所情報の発信も検討 していきたいと考えています。
	35	個人情報に十分注意している			個人情報が記載された書類の廃棄は シュレッダーを利用し、保管は個人 情報ファイルは鍵付きのキャビネッ	個人情報は今後も細心の注意を払い 取り扱いや保管を行って参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意 思の疎通や情報伝達のための配慮を している	0		トにて保管管理しています。 児童には特性に合わせた伝達方法を 選択し、保護者様にも専門用語を避 け、分かりやすい説明や情報伝達を	今後も個々の特性を考えながら、情報 伝達や意思疎通に配慮して参ります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する 等地域に開かれた事業運営を図って			<ul><li>○掛けています。</li><li>○ 今年度は事業所行事に地域住民を招</li></ul>	通所を秘密にしておきたい保護者様 もおられるため、今後は保護者様の ご意向を踏まえた上で地域イベント
非常時の対応		いる 緊急時対応マニュアル、防犯マニュ			待する様な企画を行えませんでした。 保護者様にもご覧頂けるよう、各種 マニュアルは事業所に提示するとと	に児童と参加したり、事業所の行事 に近隣の方々をお招きする等を検討 して参ります。 各種マニュアルをご覧頂けるように
	38	アル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			もに事業所内研修で共通認識を図っています。 定期的に様々な災害を想定した避難	保護者様へも継続してお知らせして参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			訓練を実施しています。 参加する児童の特性に応じて訓練への参加方法を考慮しております。 開所時期のため、外部の虐待防止の	今後も定期的に避難訓練を続けて参ります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			関所時期のため、外部の虐待的正の 受講機会はありませんでした。 事業所では虐待防止に関して勉強会 を行いました。 利用契約書には身体拘束の禁止が記	今後は積極的に社内外の虐待防止へ の研修へ参加を行い、討議を続けて 参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0		利用契約者には身体拘束の禁止が記載がされており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は予め文書により保護者様の同意を得ることとしています。 保護者様へ契約時に身体拘束についての説明は詳しく行い、身体拘束に関する知識と認識一致の為、定期的に事業所内研修を行っています。	今後も原則として「身体拘束を行わない基本姿勢」を守りながら、緊急時または、児童の命に関わる事象が起きた場合、止むを得ない状況に限り行われることを保護者様に十分に説明を行い、同意を得て、個別支援計画にも記載をして参ります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0		現在該当者はいませんが、利用開始前に保護者様から十分に聞き取り、アセスメントシートにも詳しい記載を依頼し、情報共有を徹底しています。	食物によるアレルギー発作を決して 起こすことのないよう今後も細心の 注意を払い、慎重に対応して参ります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業 所内で共有している			事業所内外で起こった事例を記録し、 定期的に振り返りを行うことで情報 共有を行っています。	今後も記録し、情報共有、認識一致の 上、事故防止のため、都度振り返りを 心掛けて参ります。

共有を行っています。

心掛けて参ります。